7.d2(真皮までの損傷)以上の褥瘡発生率

令和 7 年度の d2(真皮までの損傷)以上の褥瘡発生率を集計しました。

定　義

◇集計値は次の式で算出した値とする 。

（褥瘡(d2(真皮までの損傷)以上の褥瘡)の発生患者数／退院患者の在院日数の総和）×100

退院患者の在院日数合計（分母）	褥瘡(d2 以上)の発生患者数（分子）	d2(真皮までの損傷)以上の褥瘡発生率
５２０４５	５１	０．１０％

解　説

褥瘡（床ずれ）は、寝たきりなどによって、体重で圧迫されている場所の血流が悪くなったり滞ることで、皮膚の一部が赤い色味をおびたり、ただれたり、傷ができてしまうことです。自分で体位変換ができず長期間寝たきりで栄養状態が悪い、皮膚が弱くなっているなどで圧迫だけでなく摩擦やずれなどの刺激が繰り返されている場合は褥瘡になりやすいといえます。

当院では、医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、病棟看護師などの褥瘡対策チームで褥瘡回診を行い、患者さんの状態を確認し、処置方法などの情報を共有して、褥瘡の発生減少に取り組んでいます。